

N	P	O	法	人	日	本	医	師	事	務	作	業	補	助	研	究	会
						第	6	回	宮	崎	地	方	会				

宮崎県支部では、平成 26 年 2 月 8 日（土）に、「NPO 法人日本医師事務作業補助者研究会第 5 回宮崎地方会」を延岡市医師会病院（延岡市）にて開催しました。今回は、県北や隣接する近県の実務者を対象に、医師事務作業補助者のスキルアップを目的として、放射線科と病理診断科の医師をお招きし、医師が書く「報告書（レポート）の読み方」に焦点をあてた研修を開催しました。

今回も申込締切日より前に定員に達し、宮崎県内はもとより、大阪、福岡、熊本、大分、鹿児島、沖縄など県外組 45 名を含め、総勢 100 名（講師・世話人含む）もの参加者が集まり盛会となりました。



まずは、共立病院副院長 赤須郁太郎先生からご挨拶がありました。共立病院の実務者から、「超多忙な毎日を送られている」とお伺いしておりました上に、「副院長」という肩書に緊張しておりましたが、気さくかつユーモアを交えて「医師の多忙ぶり」をお話いただきました。「超多忙な医師を救済できるのは私たちしかない！」と会場の誰もが使命感を感じるメッセージでした。

続いて、木佐貫篤先生（県立日南病院・病理診断科部長）の「病理診断レポートの読み方」に関する講義。毎回バージョンアップしているこの講義を、2 回、3 回と繰り返し聴講している参加者もいますが、その開催後のアンケートに次のような意見がありました。

- ・今まででなんとなくこんなかんじかな～と思ってみていた病理診断レポートが次回からはもっとくわしく理解できると思います。ありがとうございました。
- ・前回参加したので復習になりました。今回理解しやすかったです。



病理診断は、一定の専門教育を経ていない実務者にとっては特に難しい分野ですが、こういった難しい分野こそ定期的に「繰り返し学習」することの有効性を参加者は体得していただいたようです。

NPO法人日本医師事務作業補助研究会
第6回宮崎地方会（2014.02.08）

病理診断書の読み方講座



宮崎県立日南病院
病理診断科／臨床検査科
木佐貫 篤
kisanuki@pref-hp.nichinan.miyazaki.jp

「外科病理」は臨床である

手術・生検材料の病理診断業務を通じ
prospectiveに臨床医学へ積極的な貢献

1. 診断確定（癌であるかないか）
2. 治療方針の決定（手術断端に癌はないか）
3. 治療効果の評価（癌の再発はないか）
4. 症例解析の研究（癌の特徴は何か）

病理診断への責任

「病理診・細胞診は最終診断となり得る」
→病理医の責任は重大である

日本病理学会病理医専門医制度
信頼しうる病理医（Reliable pathologist）の
育成確保

（受験資格）
医師免許、死体解剖資格、人体病理経験5年以上、
病理診断（生検）5,000件以上、病理解剖50例以上
人体病理学に関する論文・学会発表3編以上、
細胞診講習会受講、人体病理業務に専任

- ・ 診断の正確度：**組織診が優る**
細胞診検体は情報量が少ない（組織構築、細胞同士の関係など）
- ・ 検査できる範囲：**細胞診がより幅広い**
擦過により広範囲から採取が可能、液状検体（尿、喀痰など）にも適している
- ・ 検体採取時の苦痛：**組織診は痛みが強い**
組織を切り取る痛み、擦過・吸引など
- ・ 検査の回数：**細胞診は繰返し実施が可能**
（治療効果の判定、再発チェック）

子宮頸部
組織診

細胞診

病歴検査・診断は、病気の診断や治療という面において重要である。特にがん診療においては、がんの確定診断・進行度診断として重要な役割を担う検査である。

病歴診断レポートは診断名と所見からなる。レポートの大半は腫瘍に関することなので、がん取扱・規約的理解が重要。内容を把握するためには診断名と所見を示す記号等の理解がポイント。細胞診断レポートは報告フォーマットを理解すること。よく使われる基本的な用語は理解しておきたい。

・がん取扱規約やTNM分類によっても、がんの広がりや治療方針、予後に関する情報提供がなされる。診断・治療などを理解するためにもしっかりと理解できるようにしていきたい。

Q：病理診断結果でSee noteと記載がある場合は、どこの部分をみれば診断名がわかるのでしょうか？

Q: 病理名と診断名がなかなかつながらなかったり、病理名が記載してあるときはいいのですが記載が無いときもあるので、どのようにして（診断名を）導きだしたらいいのか迷うときがあります。

A: See note. See comment (診断文参照)は、明確な診断が出来ない場合につけるコメント。従って診断名は書いてない。「診断がわからない」のだから悩むだけムダ。ただ、診断文の最後に「〇●」という診断が疑われる／可能性がある」と書いてある場合もある。それと臨床所見をあわせて臨床医（主治医）が診断名を推定することはありえる。

Q：細胞診断レポートと病理診断レポートが一致してないことがあります（例：細胞診ではがん、組織診では悪性はない）。どちらを信じれば良いのでしょうか？

A: 病理（組織）診断と細胞診断は、お互いに補完するものと考えれば良いと思います。両者の診断不一致は時々ありますがそれは両者の特性（細胞診は「広く浅く」、組織診は「狭く深く」）によると考えてよいでしょう。

A man with dark hair, wearing a dark suit, white shirt, and blue patterned tie, is speaking into a black microphone. He is holding the microphone with his right hand and gesturing with his left hand, which holds a small object. The background is a plain, light-colored wall.

続いて、梶原誠先生（四国がんセンター放射線診断科）の「放射線診断書の読み方」に関する講義。福岡経由で空路とJRを乗り継ぎ九州半周の旅をして会場入りされました。余談になりますが、宮崎県延岡市へは、航路（フェリー）とJRでもお越しいただけますので、ご参考までに… 「松山（JR）→八幡浜、八幡浜港（フェリー）→臼杵港、臼杵（JR）→延岡」。

I. 放射線診断学：ポートの構造 A. 診断のための影響を受ける要素 B. 放射線診断学：ポートの概要 i. 患者位置 ii. 技術情報 C. 検査名 i. 放射線造影の2段階の分類法 ii. 造影剤の投与 iii. 造影剤の投与法：機能 a) X線造影 1. 単純造影 2. マンゼラフラー 3. CT 4. 消化管造影 5. 血管造影 2) MRI 3) 超音波 4) 診断学 b) シンチグラフィ 1. シンチグラム 2. PET 5) 注射：新薬造影 iv. 放射線診断学：内容 v. 造影剤 vi. 確定診断/確定医 vii. Impression	B. Finding and Findings A. 所見の小論 B. 所見の両性 C. 放射線診断学：用語 A. 放射線合併症 B. 用語の型/型 i. 部位に関する用語 ii. 性状に関する用語 1. MRI用語 2. X線造影用語 3. 造影用語 iv. 放射線診断学：放射線 A. 「診断」ではなく「Impression」 B. 放射線画像は正確 C. 診断医はこれに責任をゆがめる D. カルティPOSと放射線診断学：ポート E. 診断書が「Objective Data」である F. 診断書とカルテの類似性 G. 主治医に必要となる V. 複数の放射線診断学の読取り A. 読過を怠る B. CTを中心とする
---	--

1. 診断機種の違い
2. 造影か非造影(単純)か

診断機種の違い X(エックス)線系 ・ 単純写真 ・ マンモグラフィ ・ CT ・ 透視 ・ DSA	MRI 超音波 核医学 ・ 〃シンチ ・ PET
--	--

レントゲン
X線写真
X-P(photograph)
X-ray
エックス線
なで

1896年1月23日



Wilhelm Conrad Röntgen (1845-1923)

```

graph TD
    Circle(( ))
    subgraph CircleContent
        A[部位]
        B[性状]
    end
    Circle --- CircleContent
    C[所見/ Finding] -- points to --> Circle
    Circle --- D[結論]
    E[評価] -- points to --> D
  
```

思维流程

审题: 理解题意, 找出已知条件

找条件: 找出已知条件

找规律: 找出已知条件

找方法: 找出已知条件

找答案: 找出已知条件

验证: 验证答案是否正确

总结: 总结解题思路

[illegible]



研修終了後は、もちろん、講師陣とスタッフ、参加者による懇親会で盛り上がりました。

今回、会場をご提供いただいた延岡市医師会病院（延岡市）さま、梶原先生、木佐貫先生、世話人のみなさま、そしてご参加いただきましたみなさまに感謝いたします。

宮崎地方会は、モチベーション向上を目指して続きます。日々の業務に少し疲れたときは、「モチベーション」補給に、地方会へお越しください。お待ちしております。

N P O法人日本医師事務作業補助研究会 武田まゆみ
(潤和会記念病院 医事部)